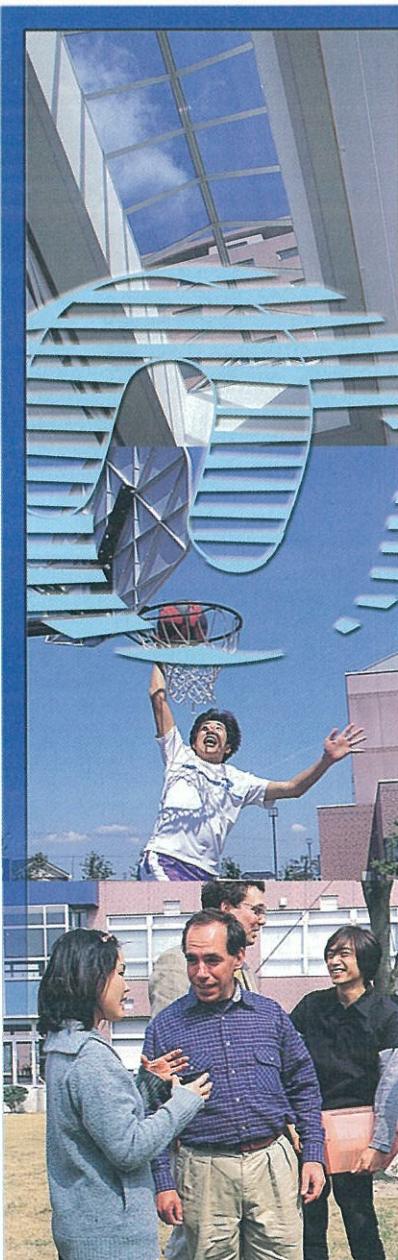


# 国際情報

INTERNATIONAL & INFORMATION

新潟国際情報大学広報 第9号

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nuiis.ac.jp URL <http://www.nuiis.ac.jp>

本年4月、新潟国際情報大学長として着任いたしました。本学は21世紀に向けて、大学の名称にふさわしく新しい構想で作られた新鮮味溢れる大学です。1学部ではありますが、2つの学科があり、情報文化学科では英語はもちろんのこと、他の外国语も習得し、他国の文化を日本文化と対比しつつ理解し、情報社会で役立つ人材を作ることであり、情報システム学科では広く国際的に構築された情報システムの理論と実際を習

得し、社会人としてその能力を発揮できる人材を作ることであります。まさに現在の社会構造に必須な人物を養成するところであります。学生諸君は真面目で素直で教育の甲斐があります。現在の在学生は約1300名であります。卒業生による同窓会も活躍しています。またこれから大学院を設置したいと考えております。本学への皆さんの一層のご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



新潟国際情報大学 学長

武藤 輝一

「あいさつ



## 平成12年度入学式挙行

## 357人が入学

## 告辭 学長 武藤輝一



4月7日(金)午後1時から本学140教室において第6回入学式が挙行された。

新入生357名(情報文化学科139名、

情報システム学科218名)、父母、来賓および

教職員多数出席のもと武藤輝一学長告辭 小沢

辰男理事長祝辞、在学生代表今井誠君(学友

会会長)の歓迎の言葉に続いて、新入生を代表

して、情報文化学科の森口祐季さんが「わたし

の抱負」を述べた。

4月10日(月)にはガイダンスが行われ、その後全員が1泊2日のフレッシュマンキャンプ(於厚生年金スポーツセンター)に参加し、希望に満ちた大学生活のスタートを切った。

現在の大学の始まりは11世紀後半のイタリアのボロニア大学や13世紀初頭のパリー大学であるといわれています。それそれウニベルシタスやユーベルシテと呼ばれました。ボロニア大学創設の頃、

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。本日ここ

に入学式を挙行するにあたり、新潟国際情報

大学の学長として、心からお祝い申し上げます。

入学は皆さん自身にとっての喜びであると同時に、

本日御列席の御父兄にとっても、また多数の前

途有為の皆さんを迎えることができる我が大

学にとっても大変な喜びであります。

本日、新潟国際情報大学に入学を許可され

た皆さんには情報文化学科139名、情報システ

ム学科218名、合わせて357名あります。

本学では社会人入学の人もありますが、多

くの皆さんは小学校から高等学校までの生活

を終えて間もない人達であります。これまで

どちらかといえは教えられる立場にありました。

しかしこれからの本学での学生生活はしっかりと

自己を認識することから始まります。これまで

「汝らを知れ」とはデルフライの神殿に掲げられた

言葉であります。パスクアルは有名な『考究の草』

の中で、「人間は一本の草に過ぎない。自然の中で

最も弱い草にしか過ぎない。しかし考究の草で

ある。」と申しております。何事も自分で考え、

自分で求め、自分で行動することが必須となり

ます。人にのみ与えられた思考能力を勉強や学

生生活の中に生かしてこそ意義があるのではな

いでしょうか。勿論、個人としての広い自由や権

利を感じ、主張も大きくなります。同時に日常の行為に対するアカウンタビリティー、即ち他の人に説明できる責任を持たなければなりません。

ヨーロッパの各地から学生は荷物を背負って、アル

ブスを越えて集まり、学生は自分達の中から学

頭を選びました。そしてコレギュラムという組織

を作った教師を学生が雇う形であったといい

ます。即ち学間に對し強い欲求を持った学生自

身が大学を作った意気込みを忘れてはならない

でしょう。そして今では、どこの国でも大学教育

は制度化されています。

ところで、わが国で第二次世界大戦終了直後

改められた大学教育制度も半世紀を経て、改

革が必須となりました。平成3年の大学設置

基準の大綱化により、大学自身の自由度も大きくなりましたが、責任も大きくなりました。

同時に大学教育の大衆化であります。この変革

の中で、本学は新しいが、まさに21世紀を目指しての大学といえましょう。設立の

目的は情報社会の中で国や地域の境を越えて、

人類の福祉のため盡すことのできる人物を育成することにあります。とくに情報文化学科では、各國、各民族の文化の違いを正しく認識、評価しうる情報判断力を持ち、社会人として、これを行動の中に生かしうる人物を創ることにあります。情報システム学科では国際的に広く構築された情報システムの理論と実際を会得し、これを社会人として生かし役立たせうる人物を創ることにあります。同時に社会の一員として、一人の人間として活躍するに相応しい人間性を備えるために教養教育も重要視しなければなりません。

新潟市は幕末に5大港の一つとして開港された港を持ち、コスモポリタンの気風に満ち、また人情厚きところであります。広い越後の平野も、近くの山脈も、広く青い日本海も皆さんを招き、皆さんがこの恵まれた土地で勉強に勤しみ、学生生活を謳歌し、心温かく人間味溢れる社会人に成長することを心から期待し告辭と致します。



新入生代表  
情報文化学科

森口 祐季

念なことです。先達の努力により作られた平和な日本に住めることに感謝しつつ、それぞれの立場で如何にして人類の幸せに貢献することができるか、これから学生生活の中で考えてほしいと思います。

これから学生生活の中で、嬉しい事や樂しい事も沢山あります。時には悲しい事や失敗する事もあるでしょう。しかし若い皆さん特徴は「燃える情熱」と「自己との挑戦」であり、何事も無事に乗り越えて確固たる足場を作り、同時に、21世紀で大いに活躍できる皆さんを羨ましく思い多くの希望を申し上げることになりました。

ヨーロッパの各地から学生は荷物を背負って、アルブスを越えて集まり、学生は自分達の中から学頭を選びました。そしてコレギュラムという組織を作った教師を学生が雇う形であったといい、即ち学間に對し強い欲求を持った学生自身が大学を作った意気込みを忘れてはならないでしょう。そして今では、どこの国でも大学教育は制度化されています。

ところで、わが国で第二次世界大戦終了直後改められた大学教育制度も半世紀を経て、改革が必須となりました。平成3年の大学設置基準の大綱化により、大学自身の自由度も大きくなりましたが、責任も大きくなりました。同時に大学教育の大衆化であります。この変革の中で、本学は新しいが、まさに21世紀を目指しての大学といえましょう。設立の目的は情報社会の中で国や地域の境を越えて、人類の福祉のため盡すことのできる人物を育成することにあります。とくに情報文化学科では、各國、各民族の文化の違いを正しく認識、評価しうる情報判断力を持ち、社会人として、これを行動の中に生かしうる人物を創ることにあります。情報システム学科では国際的に広く構築された情報システムの理論と実際を会得し、これを社会人として生かし役立たせうる人物を創ることにあります。同時に社会の一員として、一人の人間として活躍するに相応しい人間性を備えるために教養教育も重要視しなければなりません。

榮に思います。

20世紀は私達が活躍するには遅すぎた時代でした。ですがこれから来る21世紀はむしろ私達の為の時代になるのではないでしょか。

この20世紀で人類は偉大な進歩を遂げました。電化製品であり、ネットワークであり、その他もうもろの進歩です。これらは個人の身の回りか

ら進化していくものだと私は考えます。そして、来たる21世紀に求められるもの、それが個人ではなく、全体つまり、世界規模・地球規模での

バブル崩壊による経済不況など、これらへの対応こそが21世紀を担う私達の活躍の場なのでないでしょうか。ですが活躍できるできないは、私達一人一人の志の持ちようによります。各々が強い志を持ち、社会へ飛び立つ前の礎となる、己の目標・学業の向上・人間形成に励み、21世紀を担う国際人となるべく、本学での4年間の生活が私達にとって意義のあるものになるようしかしかりと頑張っていきたいと思います。

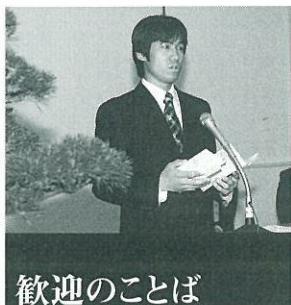
最後に、本学の理念を尊重し、自己のあらゆる可能性を見出し、これから社会に貢献できるよう務めることを誓い、入学の御挨拶とさせさせていただきます。

## 歓迎のことば

在学生代表 学友会会长  
情報文化学科

今井 誠

曰増しに陽光が心地よく感じられる季節となりました。  
新入生の皆さん、御入学おめでとうござります。  
今、皆さんは新潟国際情報大学という新しい



舞台に立ち「期待」と「不安」が入り交しつた緊張感で胸がいっぱいなのではないでしょうか。私も2年前、皆さんと同じ経験をしたのを覚えています。

さて、大学生活の4年間というのは、今までの学生生活を通して様々な「出会い」を経験できる最高の場です。新しい環境での教職員との「出会い」や、新しい友人と「出会い」は勿論、なにより学外における一般の人々との「出会い」の機会がより多く得られることでしょう。

皆さんには、様々なことに興味を持ち、様々なことに挑戦し、様々なことを経験して欲しいと思っていて。特に彼らの過程における様々な「出会い」を大事にして欲しいということです。それらの「出会い」や経験はこれから社会生生活において必ず自分自身の力となり、役に立つてくれるはずです。

私が大学生活を過ごして、自己表現、自己発達、自己成長、自己実現の活動を起こしていく自立的で且つ、積極的な学生にならなくてはなりません。ただダラダラと何となく毎日を過ごすのではなく、しっかりととした目的意識を持ち、大学生としての自覚を持つことで有意義な大学生活を過ごして欲しいのです。

る可能性を見出し、これから社会に貢献できるよう務めることを誓い、入学の御挨拶とさせていただきます。



学長から学位記を受け取った。学長は、卒業生に対しはなむけの言葉を贈って卒業を祝った。長谷川義明新潟市市長の祝辞が代読され、学生表彰に続いて、情報システム学科の小黒悠紀子さんが卒業生代表として答辞を述べて式典を終えた。

午後6時からは、ホーテルイタリア軒において、学生主催の卒業記念パーティーが開かれ、和やかな雰囲気の中で社会への門出を祝した。

3月22日 水午後1時より 平成11年度卒業式が、新潟芸術文化会館で行われた。今年は新たにオープンした通称「りゅーとびあ」での卒業式となり、多数の父兄が列席する中、厳粛かつ華やかに式が挙行された。

第3回卒業生として、情報文化学科125名、情報システム学科175名、合計300名が卒業し社会に巣立つていった。

式典は、学位記授与で始まり、卒業生全員の氏名が呼び上げられ、各学科総代が小沢辰男

振り返れば、この4年間に、大学が大きく変化を遂げたという印象があります。大学周辺は、どかな田園風景から住宅街が建ち並ぶ風景へと変わり、またコンピュータも最新のものに入れ替わるなど、校舎の環境設備も、より学生が利用しやすい状況へと変わりました。さらに両学科のカリキュラムも、この4年間で大幅に改正され、より国際化・情報化時代に対応した内容に変わりつつあります。

正直に申し上げますと、入学した当初は設立して間もない新しい大学での学生生活や、将来的の就職活動において不安や戸惑いがありました。そのため試行錯誤の繰り返しでしたが、その分、他の大学では得られなかつたことを学ぶことができ、得るものも多かつたと思います。私はコリア語を専攻していたのですが、私の好きな韓国の諺に「シジャギ バニダ」、「始まりが半分だ」という言葉があります。「物事は始まさえすれば、半分は成就したも同じだ」という意味です。考え方が甘いと言われればそれまでですが、チャレンジすることによって、時には実力以上の方を發揮できるということを学びました。



## 卒業式挙行

第3回 卒業生代表  
情報文化学部 情報文化

小黑 悠起子



私にとってこの4年間は、まさに社会人になるための貴重な準備期間でした。この4年間で得た知識や経験は、生涯の財産となることでしょう。

この日を境に、私達は別々の道を歩むことになります。社会に出ると、多くの苦難にぶつかると思いますが、これから本当の勉強が始まることです。

今までご指導くださった諸先生方や、支援してくださった多くの方々の御厚恩に対し、感謝の言葉もありません。今後進学する者も、社会へ出て働く者も、この点を忘れず、新潟国際情報大学の卒業生として誇りを持ち、歩み続ける決意です。この4年間で得たものを、地域社会の発展に貢献できるよう努めていきたいと思います。

最後になりましたが、新潟国際情報大学が環日本海地域の拠点となり、新たな国際交流の場となりますことを祈念いたしまして、私の答辭といたします。

## 卒業式で学生表彰

3月22日の卒業式に合わせて、4年間に顕著な活動をした学生の表彰が行われた。

### 理事長賞

情報システム学科 阿部宏正  
(県内高校の情報教育の向上に貢献、本学の名声を高めると共に、難関のネットワークスペシャリスト試験に合格)

### 学長賞(総代)

情報文化学科 小黒悠起子  
情報文化学科 三富勇樹  
情報システム学科 酒井寛子

### 課外活動賞

情報システム学科 和田周太郎  
(北日本学生陸上競技対校選手権大会において走り幅跳び3位入賞)

### 情報システム学科 山田一洋

(学友会執行部として学友会活動の活性化に貢献)

### 国際交流賞

情報文化学科 荒木麻衣子  
(AFS役員として、各留学生との交流・ボランティア活動に貢献)

### 学術賞

情報システム学科 山口潤子  
(新潟市産業活性化学生会議において第2位優秀賞を受賞)



# 北京師範大学と 交流協定締結

異文化に対する理解を深め、眞の国際人を育成するため、本学は各國の大学との提携・交流を進めています。開学7年目のこの度、中国の北京師範大学歴史学部と交流協定を結び、相互の交流をより深めていくことになりました。

両校の調印式は本学で行われ、武藤学長が「大学の国際化が進み、日中の友好促進に役立つ」とあいさつ。調印書には榎木公一・情報文化学部長と鄭師渠(テイ・シキヨ)北京師範大副学長が署名し、固い握手が交わされました。鄭副学長は「異文化交流は21世紀の教育の新しい方向。良い成果をもたらすと信じている」と協定締結に対する期待を述べました。

今後の予定として、まず情報文化学科の2年生以上の学生約30名が、5ヶ月間、北京師範大に留学。留学先での取得単位は相互交換であります。また、今後は学生と研究者の相互交流、学術論文の交換など、教育と学術の発展に向け、様々な共同事業を行っていきます。

本学では今後、ロシアの極東国立総合大学のほか、アメリカ、韓国の大学とも交流協定を結び、学生の選択肢を広げていく予定です。

異文化への扉がまたひとつ

# 高校図書館部会開催

平成12年度の新潟県高等学校教育研究会図書館部会の総会と研究会が6月23日(金)に新潟国際情報大学を会場として開催されました。

午前中は「朝の読書を実践して、進路学習を含めて」と題した研究発表が行われました。午後からは、「情報収集のための情報検索」と題した講演が、本学の高木義和教授により行われました。2003年から始まる新しい高等学校学習指導要領では、情報という教科が新設されるため、今から情報の勉強を始めたいという参加者の強い熱意が感じられました。



各委員会  
からのお知らせ

## 学生部より

平成12年度の日本育英会奨学金には、総計66名の応募者があり、書類審査、面接の結果、1種(無利子)に14名(うち1名は2年生以上)、2種(有利子)には42名(うち10名は2年生以上)が学内候補に決定し、育英会に対する申請手続を完了しました。

平成12年度、学生部委員は左記の通り決定しましたので、よろしくお願ひします。  
原口武彦(部長)、大山毅(副部長)、區建英(卒業アルバムなど担当)、塚田真(紅葉祭など担当)、小宮山智志(会計担当)

午前中は「朝の読書を実践して、進路学習を含めて」と題した研究発表が行われました。午後からは、「情報収集のための情報検索」と題した講演が、本学の高木義和教授により行われました。2003年から始まる新しい高等学校学習指導要領では、情報という教科が新設されるため、今から情報の勉強を始めたいという参加者の強い熱意が感じられました。

## 情報センターより

情報閲覧室(1階)では、卒業研究や課題に必要な資料検索の相談に応じております。以下の要領で実施しておりますので、ご希望の方は貸出しカウンターにおいてください。

データベース・雑誌記事検索、ジャーナルリンクス、BOOK PIUS、朝日新聞全文記事データベース、日経新聞4紙DVD-ROM、冊子体の資料

学内外の文献申し込み方法や、近隣の大学図書館、公立図書館の資料の利用方法などもご案内いたします。  
コンピュータ室(2、3階)ではマルチメディア実習室のパソコン、周辺機器の更新を行うとともに、UNIXマシンを最新のものにしました。機器はよくなりましたが、ネットワーク特にインターネットでは大変ご迷惑をかけています。回線の契約が9月で切れますので、それを機に高速化する予定です。

## 充実のキャンパスをこの目で オープンキャンパス開催のお知らせ

新潟国際情報大学では今年もオープンキャンパスを開催します。参加希望の方は、高校の進路担当の先生を通じて申し込むか、左記の連絡先まで直接お申し込み下さい。



【日】時】7月22日(土)11:00~16:20/受付10:30~11:00  
【対象】受験生・父母  
【内容】入試情報と解説・個別相談/模擬講義/  
CG・インターネット体験/学生生活Q&A  
【交通】JR越後線越後赤塚駅下車 徒歩7分(駐車場有り)  
【申し込み・問い合わせ】新潟国際情報大学教務課  
TEL025-239-3251 FAX025-239-3690  
E-mail:kyomu@nuiis.ac.jp

会員からのお知らせ

## 国際交流委員会より

### 「映画のなかの市民社会」

昨年、多くの市民の皆さんに参加いただき、好評を博した市民のための公開講座が、今年も6月3日～30日にわたりて開催されました。

テーマは去年に引き続き、「映画のなかの市民社会」。昨年同様、新潟市内の映画館シネ・ウインドにおいて本学指定の映画を4作品上映。それぞれの作品に関して、本学教員が講師となつて講演・討論を行いました。

今年度はさらに深く市民社会を考えるとい

う目的で、昨年とは視点を変え、全てドキュメンタリー作品で構成されました。メイン上映の「ス

ペシャリスト・自覚なき殺戮者」はイスラエルで

行われたナチス幹部アヒマンの裁判の記録映画。

どうしてあれば、残虐な行為を実行できたのか。平和学を専門にする佐々木寛先生が、戦争責任と市民社会、集団の責任と個人の責任などについて講演しました。

その他「金日成のパレード」「ゲット・オン・ザ・バス」「ゆきゆきて、神軍」の3作品を上映。いずれも多くの論争を引き起こした問題作で、劇映画とは違ったスリル、感動とともに、市民社会について普遍的な問題を考えさせるものでした。

「市民社会」という難しいテーマにも関わらず、今年も多くの方が受講。どの作品でも、講師と受講生の間で

健康で豊かな一生を過ごすには、筋力、持久力、柔軟性などの要素が必要です。それらを健全に維持するためには、理論と実践に基づいた正しい運動トレーニングが最も効果的です。健康

体力づくり、身体づくりのための運動トレーニングのことをフィットネスといい、本学では体育授業において、従来の「体育実技」とは異なる、健康体力作りに重点を置いたフィットネス教育を実践しています。

今回、6月3日、6月17日、7月1日の3回にわたりて本学体育館において市民公開講座を開催し、本学の体育授業で行っている内容の一部を市民の皆さんに紹介しました。1回目は筋肉づくりのためのトレーニング、2回目は「体脂肪燃焼のためのトレーニング」、3回目は「プロポーションづくりのためのトレーニング」という

テーマでした。体脂肪率や体力と健康の関連性、フィットネス理論や運動と健康の関連性などについて講義を行いました。また、実際にマシンを使つたトレーニングを体験する時間も設け、正しく効果的な運動法を指導しました。

近年における基礎体力の低下、肥満や成人病の増加、高齢化社会、健康情報の氾濫…。こので皆さんに紹介させていただきます。

## 学位取得について

小澤治子教授が5月慶應大学から法学博士学位を授与されました。慶事なので、ここで皆さんに紹介させていただきます。

（地域交流委員会  
稻宮 健一記）



### 「健康体力づくりのフィットネストレーニング」



## 教員の活動

市川照久教授

テーマ「流通革命と期待される人材」で講演

昨年10月に、弥彦において

日本貨物主催の講演会で講演し、今年の4月に、いわき市においていわき商工会議所主催の講演会で講演しました。テーマは「流通革命と期待される人材」です。

情報処理学会の情報処理教育委員会の委員会として、現在情報システム教育分科会のメンバーとして、情報システム学科のモーデルカリキュラムを検討しています。私の担当は、「情報システム学科の卒業生に期待される能力」を明確にすることです。

## 情報処理学会の活動

## 教員の出版物

柳永益著 秋月望  
広瀬貞三訳  
「日清戦争期の韓国改革運動—甲午更張」

（法政大学出版局、2000年）  
1894～96年の韓国における近代化運動である「甲午更張」に関する本格的な研究書。

開化派官僚の改革構想などから、「甲午更張」が自立的な改革運動であったことを実証する。本書は「韓国の学術と文化」シリーズの第3冊である。

のように健康に対する関心が強まっているなかでのこの市民公開講座は、多くの参加希望があり、残念ながら全ての人が参加できるというわけにはいきませんでした。しかし実際に参加した皆さんには興味深く講義に聞き入り、充実した公開講座となりました。

（藤瀬 武彦記）



## 大学院進学

平成12年3月、情報文化学科卒業生の  
石田剛志君が、新潟大学大学院人文学科  
学研究科に合格しました。

専門の方々が集まる本学の一員になれたことは、大変なチャンスだと考えております。この素晴らしい環境で新しい情報を作り出そうと試行錯誤することの「楽しさ」を学生の皆さんにお伝えできるよう研究教育に邁進する所存です。よろしくお願ひ致します。

## 就職活動について

就職指導委員長

永井 武

助教授 白井陽一郎 情報文化学科  
(平成12年4月1日)

でした。このような私にとって、多様な経験・経歴・多才なチャンスだと考えております。この素晴らしい環境で新しい情報を作り出そうと試行錯誤することの「楽しさ」を学生の皆さんにお伝えできるよう研究教育に邁進する所存です。よろしくお願ひ致します。

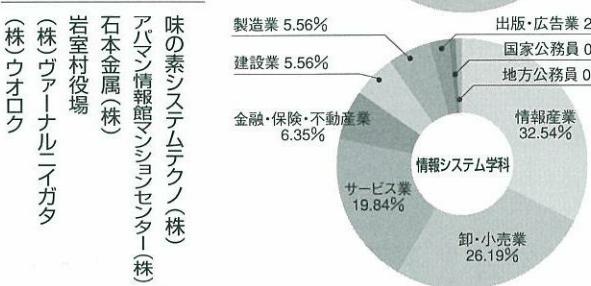
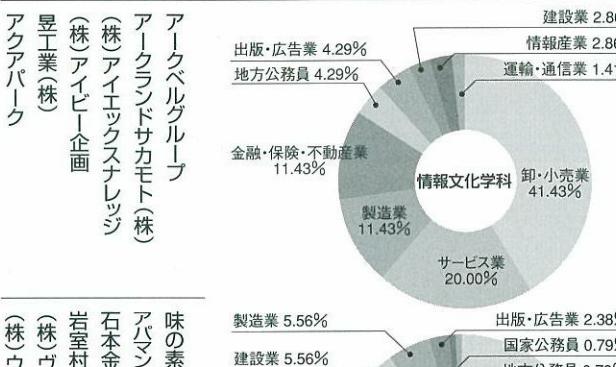
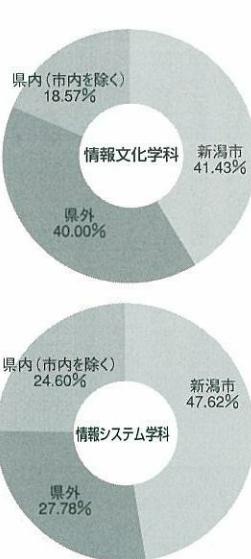
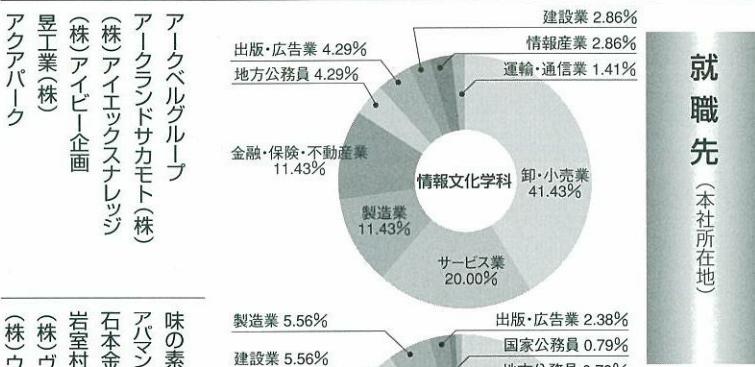
NSGグループ愛宕商事(株)  
NSG新潟総合学院

## 卒業生就職先企業一覧

2000年3月  
(50音順)  
(株)NSGコンピュータサービス  
(株)NSGグループ愛宕商事(株)  
NSG新潟総合学院  
(株)エフオーネーションシステム  
(株)扇や商店  
(株)大崎コンピュータエンヂニアリング  
(株)大竹オール(株)  
(株)大谷商会  
(株)大橋製作所不動産部  
(株)オギ医療科商事(株)  
(株)学研G-I-C  
カネ美食品(株)  
(株)キユーピット  
協栄信用組合  
(株)熊谷組  
(株)コメリ  
(株)コカ・コーラ  
(株)サンテック  
(株)三和薬品(株)  
(株)シアノス  
自衛隊  
資生堂エステティックサロン  
下田村農業協同組合  
清水商事(株)  
(株)芝通  
(株)ジャスコ(株)  
(株)ジャパンネット  
(株)商工フード  
(株)乗馬クラブクレイン  
白根市農業協同組合  
(株)上毛新聞社  
シンキ(株)  
星光薬品(株)  
(株)関本製麺  
セコム上信越(株)

(株)センチュリーハウジングシステム  
(株)ソネット  
(株)ソリマチ技研  
(株)第二印刷所  
(株)田代  
(株)武富士  
(株)大起産業(株)  
(株)ダイナム  
(株)タカヨシ  
(株)ハヤマ  
(株)原信  
(株)博進堂  
NOVAGループ  
(株)FJBウェブテクノロジー(株)  
(株)扇や商店  
(株)大崎コンピュータエンヂニアリング  
(株)大竹オール(株)  
(株)大谷商会  
(株)大橋製作所不動産部  
(株)オギ医療科商事(株)  
(株)学研G-I-C  
カネ美食品(株)  
(株)キユーピット  
協栄信用組合  
(株)熊谷組  
(株)コメリ  
(株)コカ・コーラ  
(株)サンテック  
(株)三和薬品(株)  
(株)シアノス  
自衛隊  
資生堂エステティックサロン  
下田村農業協同組合  
清水商事(株)  
(株)芝通  
(株)ジャスコ(株)  
(株)ジャパンネット  
(株)商工フード  
(株)乗馬クラブクレイン  
白根市農業協同組合  
(株)上毛新聞社  
シンキ(株)  
星光薬品(株)  
(株)関本製麺  
セコム上信越(株)

(株)日本生命保険相互会社  
(株)日本トラフィックコンピューターセンター  
日本留学情報協会新潟支部  
(株)ニコーネテレス  
(株)ニコーメディア総研  
日本生命保険相互会社  
(株)日本トラフィックコンピューターセンター  
日本留学情報協会新潟支部  
(株)ニコーネテレス  
(株)ニコーメディア総研



アーチベルグルーブ	新潟県警	藤屋段ボール(株)	(株)センチュリーハウジングシステム
アーチランドサカモト(株)	(株)新潟労働金庫	(株)日立ビルシステム	(株)ソネット
(株)アイエックスナレッジ	新潟県労働金庫	(株)ビット・エイ	(株)ソリマチ技研
(株)アイピー企画	(株)新潟シェル	(株)ひらせいホームセンター	(株)第二印刷所
晃工業(株)	新潟ゼロックス(株)	(株)ファイブオーツ	(株)田代
アクアパーク	新潟潜水興業(株)	(株)フオーラムエンジニアリング	(株)武富士
石本金属(株)	新潟セキスイハイム(株)	(株)ブリジストンタイヤ新潟販売(株)	(株)大起産業(株)
岩室村役場	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)ダイナム
(株)ヴァーナルニイガタ	新潟県労働金庫	(株)ナルス	(株)タカヨシ
(株)ウオロク	(株)新潟労働金庫	トヨタ部品新潟共販(株)	(株)ニコーネテレス
星光薬品(株)	(株)新潟セキスイハイム	(株)ナカムラ	(株)ニコーメディア総研
積水ハウス(株)	(株)新潟ケンペイ	東洋羽毛工業(株)	(株)セイコーエフエフ
(株)関本製麺	新潟ゼロックス	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
セコム上信越(株)	新潟潜水興業	外山産業(株)	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナルス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	外山産業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	東洋羽毛工業	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)トップカルチャード	(株)セイコーエフエフ
新潟冷蔵(株)	新潟ゼロックス	外山産業	(株)セイコーエフエフ
(株)ニッサン	新潟潜水興業	(株)トータルブランディングサービス	(株)セイコーエフエフ
日生不動産(株)	新潟セキスイハイム	トヨタ部品新潟共販	(株)セイコーエフエフ
新潟リコー(株)	(株)新潟ケンペイ	(株)ナカムラ	(株)セイコーエフエフ</td

# はじめました。新カリキュラム

学習指導委員長 赤木 敏子

湧 YUUGEN 源

編集後記に代えて



本年度入学した1年次生から新しいカリキュラムになりました。

情報文化学科では、国際化と情報化の時代に要求されるコミュニケーションをはかるための英語(CEP: Communicative English Program)1年次前・後期が必修になりました。また1年次後期からは英語、ロシア語、中国語、韓国語の中から1言語を選んで学び、その地域と日本との関わりやその地域をはじめとする各々の異文化を理解するようカリキュラムを構成しました。さらに各地域の文化を実体験出来る留学制度を導入しました。希望する学生は、2年次後期に5ヶ月留学しても在学期間が4年で卒業できる制度です。ただし、英語圏のアメリカについては、2年次夏期休暇中に6週間留学の予定です。

情報システム学科では、情報システムの企画・設計・開発・運用に携わったり、あるいは情報を

活用するなどこれから情報化社会の建設に貢献出来るようカリキュラムを充実しました。また、情報化の進む国際社会を実体験し、英語によるコミュニケーション能力を高めるため、北米の大学へ2年次夏期休暇中に4週間留学する制度を設けました。留学先の大学はいずれも、本大学の教育方針を理解し、充実した留学プログラムを検討してくださっています。折角のチャンスですから積極的に参加してください。なお、いずれの学科の留学も、2年次以上の学生は参加することができますので、ゼミの担当の先生に相談してください。

広報委員会では、本学のホームページデザインを変更することを考えました。今回は大学の顔ともいえるトップページのデザインの募集を行います。現在のページにとらわれない、外部にアピールするデザインを希望しています。

募集対象／本学在学生、教職員及び卒業生

賞金／優秀賞3万円(1点)

佳作1万円(2点)

優秀賞は本学ホームページのデザインとして採用します。入賞者はホームページ、広報誌などで発表します。審査はホームページデザイン審査委員会で行います。

応募方法／以下のどちらかの方法で応募してください。

1. 各自のディレクトリにHTMLファイルを作成し、URLを連絡する。

2. デザインを紙に書いて応募する。

応募期限／平成12年9月29日(金)

応募問い合わせ先／新潟国際情報大学  
広報委員会 kawahara@nuiis.ac.jp

※詳細はHPを参照

## 新潟国際情報大学ホームページデザイン募集

<http://www.nuiis.ac.jp/kouhou/wwwpage.html>

参考資料(広報の基礎) 小林ら、1996

広報という言葉は英語のPublic Relations(由来)で、P.R.と略され企業の広告宣伝や、事柄を訴えるといった意味によく使用されます。この広報という言葉は戦後GHQが都道府県にP.R.担当部門の設置を指示したことに始まるといわれ、比較的新しい概念です。本来のP.R.活動とは、情報のやり取りを通じて、人と人、人と企業や組織、企業や組織と社会などとの間に良い関係を築くことと言えるようです。P.R.という言葉から連想される、テレビや雑誌などのマス「ミ」を使った宣伝活動とは少し内容が異なっています。P.R.活動の手段として必要な情報といふ言葉自体も、戦前は諜報など戦争に深く関係した言葉で、現在使用される意味を持つようになったのはP.R.と同様に戦後のことです。広報という言葉が強引に日本に導入された歴史を考えれば、広報の本来の意味が定着していないのも当然かもしれません。広報委員会ではP.R.本来の意味を良く理解し、大量の印刷物を作るだけでなく、大学と学生、父兄、教職員の間に、そして大学と高等学校、企業、社会の間に良い関係を築くことをめざした活動をしたいと考えています。情報の媒体として、この国際情報や毎年作成する大学案内は重要なものです。それ以外に、インターネットも広報活動にとって今後ますます重要性が高くなると考えられます。インターネットは全般的に利用環境が整っており、技術的蓄積もあることから、広報活動におけるインターネットの積極的な活用を今後検討したいと考えています。

広報委員長 高木 義和